

毎月第三日曜日

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

5月18日 午後2時～4時

5月の
ミニ講話

『認知症社会へのメッセージ』

- 一． 若年性認知症とはたらくデイサービス
- 二． 若年性認知症の夫と共に
- 三． まとめ

松浦まり子さん

高橋由佳 さん

松本利枝 さん

NPO法人 WAC 清水さわやかサービスは今年三十年を迎えますが、平成三十年から「はたらくデイサービス」としてリニューアルしました。当初のご利用者は五〇～六〇代の若年性認知症の方が多く、社会参加したい、働きたい、お金が必要等の理由で様々なことにチャレンジしました。

現役世代のご家族が認知症になったら誰でも混乱します。仕事はどうなる？ 受診・投薬継続にもお金がかかる、子どもは進学する等、問題が複雑化します。この様々な悩みにどう対峙すればよいのだろう、と発足したのが家族会SUN SUNです。

参加者が語ると感情が溢れ涙が出ます。それを聞いている他のご家族も自身を重ねたり振り返ります。このピアカウンセリングにこそ自身に問いかける自浄作用があると感じました。隣席の似た境遇の方と分かち合える。これが家族会の良さです。

今回は若年性認知症のご家族の想いを聞き、認知症は特別な病気ではないこと、また更なる認知症社会を迎える私たちに生きる事や支えることの意味を問います。

若年性認知症と言っても本人やご家族の考え方や支援方法は様々で、同じ事象はひとつもありません。

認知症基本法が制定され、八〇代の四人に一人は認知症または予備軍とされています。認知症を他人事ではなく、どのように本人とご家族を支援するのか共に考えましょう。

一足先に認知症になった方からまだ認知症になっていない私たちへのメッセージでもあります。



プロフィール

- ・松浦まり子さん
一般社団法人まんまる
代表理事
- ・高橋由佳さん
家族会 SUNSUN
- ・松本利枝さん
NPO 法人 WAC 清水
さわやかサービス 理事長

今月は会場のみの開催になります。

今月は、いつものように城東コミュニティプラザ・ハピスポで開催となります。オンラインから参加はできません。会場参加希望の方は、開催時刻の二時まで、会場である城東コミュニティプラザ・ハピスポまでお越しください。申し込み不要です。参加費として百円ご用意をお願い致します。また、各自水分のご持参もお願い致します。

今後のオレンジカフェ予定

令和7年6月15日(日)

久保亜紀子さん

藤枝市にお住まいの認知症の本人

「認知症になっても希望を持った未来をもちたい！」



久保亜希子さん

令和7年7月20日(日)

浜渦辰二さん

上智大学グリーンケア研究所特任所員

「認知症とがんと私」

令和7年8月17日(日)

窪田由佳子さん(ピアニスト)

著書「シベリアのバイオリン」



会場の写真

カフェのプログラム

- 一、ミニ講話 松浦まり子さん
- 質疑応答 高橋由佳さん
- 松本利枝さん
- 二、声のワークシヨップ 上藤美紀代さん
- 個別相談(榎千恵子さん)

今月の相談担当者

今月は伝馬町横内地域包括支援センターから、榎千恵子さん(主任ケアマネジャー・社会福祉士・介護福祉士)が城東ハピスポにいらして、相談にのってくださいます。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo (ハピスポデイ和かな)

会場提供 社会福祉法人静和会

共催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647 (岩崎)

✉ shizuoka.orangecafe@gmail.com



バス: 静岡駅北口、5,6番からのすべてのバスで横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩5分